

8. 過去4カ年間の当科における全身麻酔下う蝕治療経験

○川口 辰彦，長嶺 尚子

(熊本市立熊本市民病院・歯科)

久芳 陽一，塚本 末廣，吉田 穰

(福歯大・小児)

熊本市立熊本市民病院は22診療科，病床数580床を持つ総合病院で，熊本県中央医療圏の基幹的存在として機能している。

歯科は昭和54年4月非常勤下に開設され，昭和57年4月常勤体制となった。当科は開設以来，福歯大小児歯科，熊大歯科口腔外科と連携を保ちつつ，病院機能，設備を十分に活用した歯科医療を目指しており，包括医療の中で歯科の果たすべき役割，さらに熊本市により設立，運営されている自治体病院の歯科として地域医療に果たす役割を模索しつつ現在にまで至っている。現在，われわれは過去において当科に寄せられた歯科医療需要より，有病者（児），障害者（児）に対する歯科診療，軽度～中度の口腔外科的疾患に対する診療などを重視しつつ日常診療に従事している。

今回，過去4カ年間の当科における障害児に対する全身麻酔下う蝕治療100例につき，2，3の観察を行ったので，若干の考察を加え報告する。